

警備業におけるその他の環境等を起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	14～15	地区保管現場において、トラック車両の誘導中、地面に残っていた雪に足を滑らせ、そのまま後方に転倒し、骨盤を骨折した。	63～29	10
1	7～8	作業現場にて、早朝であり、入口に積雪がありその上を歩いたら滑って尻もちをついた。当初はすぐに治るだろうと思い、そのまま仕事を続けたところ、痛みが増していった。	67～299	100
1	8～9	安全検査実施場所において制限区域立入保安検査実施のため検査対象車両に接近した際に凍結した路面で滑ってバランスを崩し転倒し左手をついたことにより、左下腕部を骨折した。	54	—
1	5～6	勤務中、トイレの1ヶ所目の鍵を開け、2ヶ所目のトイレに向かう途中、凍結していた道で滑り転倒し、右手首をつき骨折した。	66～49	30
1	10～11	除雪現場にて重機の旋回を見ていたところ、重機の右側にある民家から車が出ようとしていたので、そちらを向いて停止の合図をしようとした際、滑って転倒し負傷した。	63～99	50
1	8～9	請負契約業務中、駐車場内巡回中に駐車場内が凍結しており、足を滑らせてスリッパ転倒した。	52～49	30
1	9～10	仕事場について車から下りた時、路面が凍結していて転倒し、足をひねった。	67	—

2	5~6	病院警備員として院内外巡視中、玄関から病院外周を巡視する際、吹雪の吹き溜まりの状態により、路面の段差に気付かなかったため路面の氷面で足が滑り転倒し、右足くるぶしを強打して骨折をした。	78	~ 299	100
2	7~8	仮設トイレ前で氷が張っているのに気付かず、被害者が滑り、背中から地面に強打した。	47	~ 99	50
6	17~ 18	キャンパス正面受付で、大きい蛇が出たと学生が騒いだため、イノシシ退治で使用する棒で追い払おうとしたところ、蛇が威嚇してきたため後退した際、正面玄関前辺りのタイル面に尻もちをつき、腰を強打した。	70	~ 99	50
7	11~12	寮横にある駐車場において草とりをしていた。ゴミステーションまわりの草が気になり素手で草を抜く。かたかったので力を入れてひっぱった時小指を切ってしまう。あと少しでそうじが終了だったのでそのまま続ける。2日~3日したら左手がひじ近くまではれてしまい、中指、薬指、小指が激痛。	67	~ 99	50
7	12~13	砂利道で転倒し、受傷した。	62	~ 499	300
7	18~ 19	道路脇に前向きに駐車していた工事車両を、被災者がバック誘導し、歩道に戻ろうとした。左足から先に縁石を跨ぎ、右足を上げようとしたところ、右足が折れた雑草に引っ掛かり、右腕側面が下側の状況で自分の体重が全てのしかかった体勢で、歩道脇の草むらに転倒し負傷した。	51	~ 29	10
9	16~ 17	小学校にて、警備システムの異常確認のため外周点検中に、雨水で濡れた草で滑り、足を挫いたもの。	43	~ 29	10
10	23~ 24	病院において、施設警備業務に従事、定刻となり大学敷地内を自転車にて巡回していたところ、歩いていた学生を避けようとブレーキをかけたところ雨で路面が濡れておりスリップして転倒、ハンドルで胸を強打したもの。	61	~ 299	100
		店舗駐車場北出入口にて誘導業務中、凍結路面に足を滑らせて転倒した際に右手を			100

11	20～ 21	地面に強く打ちつけ、激痛のあまり一時的にめまいを起こしたものである。めまいが回復した後も右手の強い腫れ及び疼痛が治まらず、勤務を早退し病院の受診に至る。	31 ～ 299
11	12～ 13	就業場所にて巡回業務実施中、凍結路面で足を滑らせて転倒し、救急搬送されたものである。	100 59 ～ 299
12	15～16	現場駐車場で駐車台数のカウント業務をしていた時、凍結したスロープを徒歩で下っていた時、滑って転倒した際、左手を突き、手首を痛めた。	50 61 ～ 99
12	21～22	事務所で駐車場に車両を駐車し、事務所に向かって歩行中、路面凍結により転倒して右足首を骨折したものである。	10 46 ～ 29
12	9～10	業務中、高所作業車がバックした為、急いでバック誘導しようと思い走ったところ、地面が凍結していた為転倒し、左鎖骨を骨折した。	100 64 ～ 299

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html